



平成27年5月15日

各位

会社名 株式会社丸順
代表者名 代表取締役社長 今川喜章
(コード番号 3422 名証第二部)
問合せ先 執行役員管理本部長 青山秀美
(TEL 0584-48-2832)

平成27年3月期 連結業績予想と実績値の差異、子会社株式評価損（個別業績）の計上および減損損失の計上に関するお知らせ

平成26年10月27日に公表いたしました平成27年3月期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の通期連結業績予想と本日発表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、平成27年3月期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）において、子会社株式評価損および減損損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績値の差異について

平成27年3月期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）連結業績予想値と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回業績予想（A）	百万円 64,000	百万円 △1,400	百万円 △2,100	百万円 △2,500	円 銭 △285.18
実績値（B）	63,721	△2,318	△2,846	△3,381	△385.74
増減額（B－A）	△279	△918	△746	△881	
増減率（％）	△0.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	66,020	665	383	959	101.13

2. 差異の理由

売上高は、円安の影響もあり、概ね計画通りとなりましたが、利益面は、中国の後半期の主要取引先の減産による利益の減少、また米国での既存設備の不具合の改善が進まず、生産効率の一段の悪化、品質維持コストの増大により、赤字幅が増加したことから、計画を下回ることになりました。

3. 子会社株式評価損（特別損失）の計上

当社の連結子会社であるタイ・マルジュン社ならびにインディアナ・マルジュン社に対する出資金について、実質価格が著しく低下したため、子会社株式評価損として1,471百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、当該子会社株式評価損については、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

4. 減損損失（特別損失）の計上

当社が埼玉工場、関東客先向けプレス部品事業から段階的に撤退することに伴い、関東客先向けに供給するプレス部品用金型等について、特別損失として減損損失330百万円を計上いたしました。

なお、この減損損失の影響は、本日（平成27年5月15日）の連結決算の業績に織り込まれており、このために更に追加的な影響は発生いたしません。

以上